

KKBOX55S の文字入力のキー操作（2） （携帯入力モード）

2017/01/06 改訂 Ver1

マウス付簡単片手キーボード(KKBOX55S)は、携帯電話と同様に五十音式で日本語を入力すること(以下、携帯入力モードと呼びます)が出来ます。この手順書は、この方式に従った入力手順を説明しています、



付属のキートップラベルを貼った状態

キートップの表示の見方

あ：赤字のキー（基本文字）

五十音の文字が入力できる基本文字

あ：日本語の濁音・半濁音の入力

基本キーの後に「ピリオドキー」を1回押すと、濁音(がざだば行)に、2回押すと半濁音(ば行)になります。

. O：ピリオド+打鍵で入力

ピリオド(.)を押して、続いてそのキーの打鍵で入力出来る事を示す。

[<] [.] [.]：特殊キーで入力
特殊キーを押した後で更に「ピリオド」を1～3回押して、続いてそのキーを打鍵して入力出来る事を示す(記号等の入力)。

(特殊キー)



1. 設定

パソコンの入力設定

パソコンの入力設定 (IME) は「ローマ字入力」、初期入力設定は「ひらがな」にしておいて下さい。

キーボードの設定

Kkbox55s 簡単片手キーボードを接続して、キーボードに表示されるランプは下図のように3灯共に点灯する状態にしてください。



設定は、「NumLock」キーと、キーボード左側面にある「Mode Switch」ボタンを押して行います。

簡単キー55のスタート

パソコンのスタートボタン又はアイコンから「簡単キー55」のアイコン  をクリックして「簡単キー55」をスタートさせて下さい。タスクトレイにアイコン  のいずれかが表示されます。このアイコンを右クリックしてモードを「携帯入力」 にしておいて下さい。併せて、「キーマップ」にもチェックを入れてキーマップを表示させておいて下さい。

2. 使い方の基本ルール

日本語入力

あかさたなはまやらわ 行内の各文字は、その行頭のキーを所定回数押打することで出現します。希望の文字が出たら、 (区切りキー) を押して指定します。

(行内では自動で遷移しませんから、区切りを押します。他の行の文字を出す時は自動で遷移します。)

濁音・半濁音の入力

がざだば 行(濁音)は、希望の清音の文字を入力した後で、 を1回押すと濁音に変わります。

ぱびぶべぼ 行(半濁音)は、希望の清音の文字を入力した後で、 を2回押すと半濁音に変わります。

アルファベットの入力

タスクトレイのアイコン  を、マウスで右クリックして英字入力を左ボタンでクリックすると「英字入力モード」になります。タスクトレイのアイコンが  に変わります。(パソコンの入力モードを操作して「半角英数字」にしても良い)

A I U E O K S T N H M Y R W は直接該当キーを押して入力できます。

B C D F G J L P Q V X Z は直前に  キーを1度押してから該当キーを押します。

【特殊機能キー】について(重要)

(特殊キー)



(機能切替)

(特殊キー)



(ページ切替)

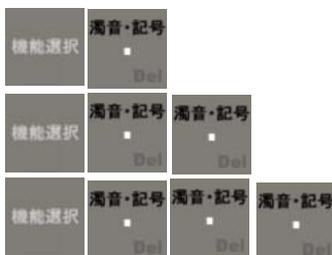
本システムでは、「機能選択」キーと「濁音・記号・ピリオドキー」特殊な働きをします。

「 **機能選択**」キーは、キーの機能の切替を行い、このキーを押す毎に「携帯入力」「数字入力」「ファンクションキー」「カーソルキー」に切り替わります。一つの文字入力又は機能動作が終わると元の文字入力(携帯入力)に戻ります。

「 **濁音・記号・ピリオド(.)**」キーは、文字入力のキー割付を切替えます。アルファベット入力で、1度ピリオドキーを押すとキー割付文字は **A I U E O K S T N H M Y R W** から **B C D F G J L P Q V X Z** に変わります。又、記号入力では、3ページにわたる入力文字の切替を行います。

記号の入力

記号キーに切り替えるには、「スペース (SP)」+「ピリオド (.)」を押します。記号は3ステージに分かれていて、続いて「ピリオド (.)」キーを押して切替えることができます。



/ * > ‘ ¥ @ ; : 「」等の入力へ

= ~ | _ ^ { , } ? 等の入力へ

‘ () & % & ! “ # > 等の入力へ

数字キー

機能選択 (特殊キー) **数字 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 が有効**

この操作では、一文字入力すると入力モードはローマ字入力(文字入力)に戻ってしまいます。連続して数値を入力する場合は、「4.英数字類の入力」で記載する方法によって下さい。

ファンクションキー(F7 F8 F9 F10 等)の利用

機能選択 機能選択 (スペースキー2回) **F 7 F 8 F 9 F 10 が有効**

「スペース (SP)」を2回押すとファンクションキーが有効になります、

F 7 : ひらかな カタカナ変換に使用

F 8 : 半角変換に使用

F 9 : 全角変換に使用

F 10 : 大文字、小文字変換に使用

機能キー(カーソルキー、BS, Del End Home 等)の使用

機能選択 機能選択 機能選択 (機能選択3回) **カーソルキー(, , ,) BS, Del End Home 等**

機能キーを使うには、「機能選択」キーを3回押すことで有効になります。又は、「Num Lock」キーを押しても有効になります。

【注】 特殊機能キーで設定した動作モードは、一度文字入力が完了すると元の状態(文字入力状態)に戻ります。

3. 全角ひらがな（日本語入力） （ PCの入力モードを「ひらがな入力」にしておく）

各行で、その行内の希望の文字を出した後で、文章の次の文字の書込みに移る時は、区切りキー  を押します。
 （行内では自動で遷移しません。）他の行の文字を出す時は自動で遷移します。

入力文字	キー操作
あ	  区切
い	   区切
う	    区切
え	     区切
お	      区切
か	  区切
き	   区切
く	    区切
け	     区切
こ	      区切
さ	  区切
し	   区切
す	    区切
せ	     区切
そ	      区切

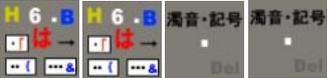
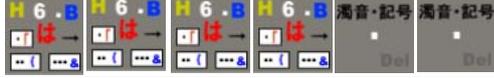
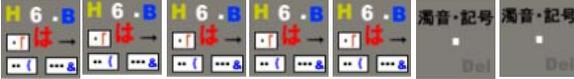
入力文字	キー操作
た	  区切
ち	   区切
つ	    区切
て	     区切
と	      区切
な	  区切
に	   区切
ぬ	    区切
ね	     区切
の	      区切
は	  区切
ひ	   区切
ふ	    区切
へ	     区切
ほ	      区切

入力文字	キー操作
ま	M 1 . F U * . Q マ 区切
み	M 1 . F M 1 . F U * . Q マ 区切
む	M 1 . F M 1 . F M 1 . F U * . Q マ 区切
め	M 1 . F M 1 . F M 1 . F M 1 . F U * . Q マ 区切
も	M 1 . F M 1 . F M 1 . F M 1 . F M 1 . F U * . Q マ 区切
や	Y 2 . J U * . Q ヤ 区切
ゆ	Y 2 . J Y 2 . J U * . Q ヤ 区切
よ	Y 2 . J Y 2 . J Y 2 . J U * . Q ヤ 区切
ら	R 3 . L U * . Q ラ 区切
り	R 3 . L R 3 . L U * . Q ラ 区切
る	R 3 . L R 3 . L R 3 . L U * . Q ラ 区切
れ	R 3 . L R 3 . L R 3 . L R 3 . L U * . Q ラ 区切
ろ	R 3 . L R 3 . L R 3 . L R 3 . L R 3 . L U * . Q ラ 区切
わ	W 0 . V U * . Q ワ 区切
を	W 0 . V W 0 . V U * . Q ワ 区切
ん	W 0 . V W 0 . V W 0 . V U * . Q ワ 区切
が	K 8 . G 濁音・記号 カ 濁音・記号
ぎ	K 8 . G K 8 . G 濁音・記号 カ 濁音・記号
ぐ	K 8 . G K 8 . G K 8 . G 濁音・記号 カ 濁音・記号

入力文字	キー操作
げ	K 8 . G K 8 . G K 8 . G K 8 . G 濁音・記号 カ 濁音・記号
ご	K 8 . G K 8 . G K 8 . G K 8 . G K 8 . G 濁音・記号 カ 濁音・記号
ざ	S 9 . Z 濁音・記号 サ 濁音・記号
じ	S 9 . Z S 9 . Z 濁音・記号 サ 濁音・記号
ず	S 9 . Z S 9 . Z S 9 . Z 濁音・記号 サ 濁音・記号
ぜ	S 9 . Z S 9 . Z S 9 . Z S 9 . Z 濁音・記号 サ 濁音・記号
ぞ	S 9 . Z S 9 . Z S 9 . Z S 9 . Z S 9 . Z 濁音・記号 サ 濁音・記号
だ	T 4 . D 濁音・記号 タ 濁音・記号
ぢ	T 4 . D T 4 . D 濁音・記号 タ 濁音・記号
づ	T 4 . D T 4 . D T 4 . D 濁音・記号 タ 濁音・記号
で	T 4 . D T 4 . D T 4 . D T 4 . D 濁音・記号 タ 濁音・記号
ど	T 4 . D T 4 . D T 4 . D T 4 . D T 4 . D 濁音・記号 タ 濁音・記号
ば	H 6 . B 濁音・記号 ハ 濁音・記号
び	H 6 . B H 6 . B 濁音・記号 ハ 濁音・記号
ぶ	H 6 . B H 6 . B H 6 . B 濁音・記号 ハ 濁音・記号
べ	H 6 . B H 6 . B H 6 . B H 6 . B 濁音・記号 ハ 濁音・記号
ぼ	H 6 . B H 6 . B H 6 . B H 6 . B H 6 . B 濁音・記号 ハ 濁音・記号

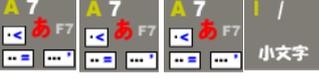
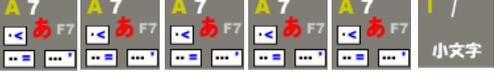
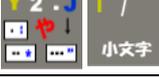
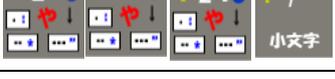
濁音は、希望ひらかなの後で、 キーを押す。

半濁音の入力

入力文字	キー操作
ぱ	H 6 . B 濁音・記号 濁音・記号 
ぴ	H 6 . B H 6 . B 濁音・記号 濁音・記号 
ぷ	H 6 . B H 6 . B H 6 . B 濁音・記号 濁音・記号 
ぺ	H 6 . B H 6 . B H 6 . B H 6 . B 濁音・記号 濁音・記号 
ぽ	H 6 . B H 6 . B H 6 . B H 6 . B H 6 . B 濁音・記号 濁音・記号 

半濁音は、希望ひらかなの後で、
 キーを2度押す。

小さい文字の入力

入力文字	キー操作
あ	A 7 あ F7 / 小文字 
い	A 7 あ F7 A 7 あ F7 / 小文字 
う	A 7 あ F7 A 7 あ F7 A 7 あ F7 / 小文字 
え	A 7 あ F7 A 7 あ F7 A 7 あ F7 A 7 あ F7 / 小文字 
お	A 7 あ F7 / 小文字 
っ	T 4 . D T 4 . D T 4 . D / 小文字 
ゃ	Y 2 . J / 小文字 
ゅ	Y 2 . J Y 2 . J / 小文字 
ょ	Y 2 . J Y 2 . J Y 2 . J / 小文字 

小さい文字は、希望ひらかなの後で、
 キーを押す。

全角記号の入力（日本語用）（ PCの入力モードを「ひらがな入力」にしておく）

文字	キー操作	文字	キー操作
— (長音)	濁音・記号 Del	・ (中点)	濁音・記号 濁音・記号 濁音・記号 濁音・記号 Del Del Del Del
、	濁音・記号 濁音・記号 Del Del	!	濁音・記号 濁音・記号 濁音・記号 濁音・記号 濁音・記号 Del Del Del Del Del
。	濁音・記号 濁音・記号 濁音・記号 Del Del Del	?	濁音・記号 濁音・記号 濁音・記号 濁音・記号 濁音・記号 濁音・記号 Del Del Del Del Del Del
「	機能選択 濁音・記号 H 6 . B は →	」	機能選択 濁音・記号 R 3 . L ら →

記号（「」）は、一文字入力すると元の文字入力に戻ります。

漢字かな文に変換

上記ひらがな文字列の入力の直後 （変換キー）を押して変換し、良ければ  で確定する。

全角カタカナ入力

上記の「ひらがな」文字列を入力して、（特殊キー）特殊キー）（F7）を押してカタカナ変換する。

（例）

（お） （は） （よ） （う）

（おはよう） → （特殊キー）特殊キー）（F7） → オハヨウ（全角カナ）

4. 英数字類の入力

半角アルファベット（小文字）の連続入力

タスクトレイのアイコン  を右クリックして、表示されるメニューから「英字入力」をチェックする。
入力モードが変わり （英字入力モード）になる。

文字	キー操作
a	
b	濁音・記号
c	濁音・記号
d	濁音・記号
e	
f	濁音・記号
g	濁音・記号
h	
i	
j	濁音・記号
k	
l	濁音・記号
m	

文字	キー操作
n	
o	
p	濁音・記号
q	濁音・記号
r	
s	
t	
u	
v	濁音・記号
w	
x	濁音・記号
y	
z	濁音・記号

「b, d, g, z, c, f, l, p, q, x」は、特殊キー  に続いて該当のキーを押して下さい。

大文字の半角アルファベットの入力

該当文字の入力後に「F9」キーを押して小文字を大文字に変換して下さい。

半角数字の連続入力

(PCの入力モードを「直接入力」にしておき、PC本体キーボードの「Esc」キーを押すと数字入力モードになります。)

(PCの「Esc」キーでなく、「簡単キー」の画面モード表示(キーマップ)左上の「カスタムモード」と表示されているキーをクリックしても同じモードになります。) 文字入力に戻る時も同様に、本体キーボードの又はキーマップの「Esc」を押して下さい。

入力文字	キー操作
1	
2	
3	
4	
5	
/	
.	
*	

入力文字	キー操作
6	
7	
8	
9	
0	
+	
-	

半角記号の入力 (PCの入力モードを「直接入力」にしておく)

記号の入力は、特殊キー  (特殊キー) を押してから、 (. ピリオド) を押して目的の記号キーを押します。ここで、 (. ピリオド) の押す回数によって記号キーのページを切り替える事が出来ます。

1 ページ目の記号入力 ( を 1 回押す = 1 ページ目)

文字	キー操作
/	 濁音・記号 / 小文字
<	 濁音・記号 A 7 あ F7
¥	 濁音・記号 S 9 . Z さ F9
[ 濁音・記号 H 6 . B は
@	 濁音・記号 N 5 . P な

文字	キー操作
;	 濁音・記号 M 1 . F ま
:	 濁音・記号 Y 2 . J や
+	 濁音・記号 O . C +
]	 濁音・記号 R 3 . L ろ
^	 濁音・記号 K 8 . G か

2 ページ目の記号入力 ( を 2 回押す = 2 ページ目)

文字	キー操作
=	 濁音・記号 A 7 あ F7
	 濁音・記号 S 9 . Z さ F9
{	 濁音・記号 H 6 . B は
—	 濁音・記号 T 4 . D た

文字	キー操作
*	 濁音・記号 Y 2 . J や
?	 濁音・記号 W 0 . V わ F10
}	 濁音・記号 R 3 . L ろ

3 ページ目の記号入力 ( を 3 回押す = 3 ページ目)

文字	キー操作
‘	 濁音・記号 A 7 あ F7
( 濁音・記号 K 8 . G か
%	 濁音・記号 N 5 . P な
!	 濁音・記号 M 1 . F ま
#	 濁音・記号 R 3 . L ろ

文字	キー操作
)	 濁音・記号 S 9 . Z さ F9
\$	 濁音・記号 T 4 . D た
&	 濁音・記号 H 6 . B は
”	 濁音・記号 Y 2 . J や
>	 濁音・記号 W 0 . V わ F10

カーソルキー（ ）と機能キーの操作

(特殊キー)

カーソルキーと機能キーは、 キーを3回押すとこのモードになります。

機能	キー操作
→	     
←	     
Ins	     
Home	     
Del	    

機能	キー操作
↓	     
↑	     
End	     
BS	

上記の数値入力モードの時に、テンキーの「Num Lock」ボタンを押してもこのモードになります。

全角アルファベット、全角記号文字の入力

パソコンの「入力モード」を「全角英数字」にセットして、半角の場合と同じ様に入力して下さい。

又、半角入力をして  キーを押して表示される全角アルファベットを選択しても良い。

半角アルファベットの大文字入力

パソコン・タブレット等の入力モードを「ひらかな」にした状態で、必要なアルファベット文字を入力し、

(特殊キー)(特殊キー)(F9)

    (F9) を押して適宜大文字に変換する。

以上